

「ボリンジャーバンドの検索を極める①」

JP法研究会 富士栄

絞り込み検索の22番にはボリンジャーバンドの検索が登録されています。

今回、次回でこの検索で出来る事を解説していきます。

※ボリンジャーバンドとは何なのか？という事はここでは解説しません。
ネットで探せば色々解説されていますのでそちらをご覧ください。



■ 22. ボリンジャーバンド上下抜

この検索で出来る事

- ・ 株価がボリンジャーバンドを上抜けた、下抜けた

株価は、4本値（始、高、安、終）から1つ選択出来ます。

「上抜けた」とは上（+）バンド（アッパーバンド）を上へ抜けたという意味です。

「下抜けた」とは、下（-）バンド（ローワーバンド）を下へ抜けたという意味です。

※上バンドを上から下に、株価が下抜けたか？という条件は出来ません。

- ・ 何日間継続して株価が上バンドよりさらに上にある
チャート上では、上バンドに沿って上昇し続けている
- ・ 何日間か継続して株価が下バンドよりさらに下にある
チャート上では、下バンドに沿って下降し続けている

※何日間継続して上バンドより下に株価があるか？という条件は出来ません。

- ・ 今まで広がっていたボリンジャーバンドが、狭くなってきている

上バンドから下バンドまでの幅が一番大きいところから、今何%まで狭まってきているかという内容です。

- ・ 上バンドの向き、下バンドの向き

例えば、上バンドがV字、下バンドが、逆V字だとチャート上ではくびれているといったところです。

■スクリーニングの例 下抜け

25日周期のボリンジャーバンドを使います。
3 σ （シグマ）を終値が下抜けた銘柄のスクリーニング方法

※3 σ とは、確率的に99.7%ここを抜けることがないという意味です。
行き過ぎという銘柄です。

下記のように設定します。

今回のスクリーニングで必要のない箇所も、例えば、「無視」としないと正しい結果が得られません。

3 σ の行き過ぎ

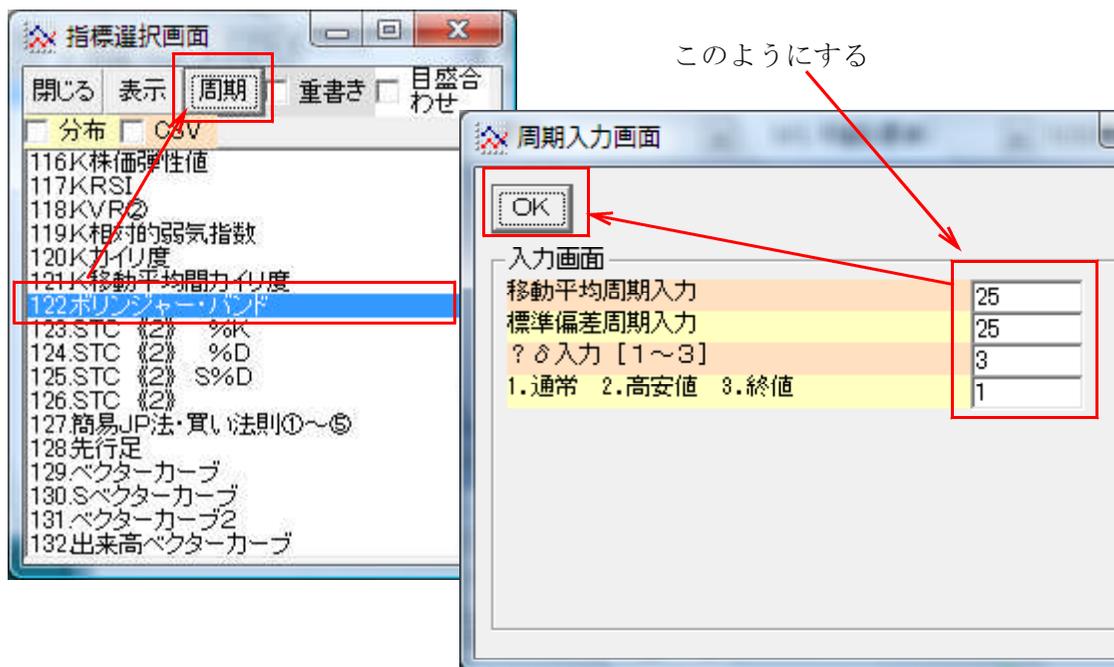
実際は、確率的にそうであるだけです。例えば業績が悪化した、倒産しそうという銘柄はさらに下にきます。

逆張りのには、買い場。順張りのにはさらに突っ込んでくると踏みます。

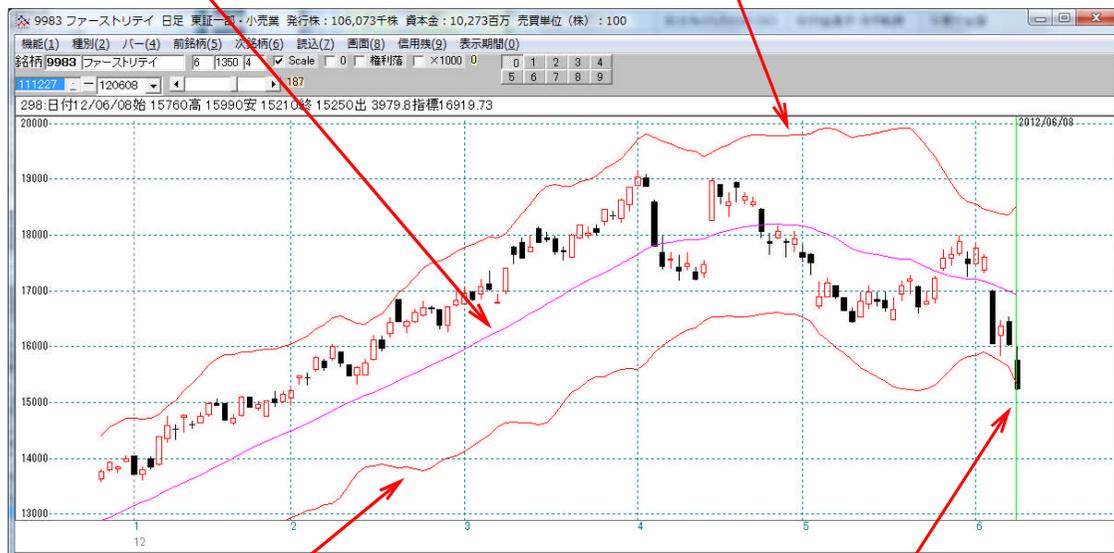
相場が一気に崩れ、何でもかんでも安値を更新しているというタイミングで買いを仕掛けるのはよいと思います。

チャート表示の方法

指標→「122. ボリンジャーバンド」を選択、「周期」をクリック



真ん中は25日移動平均線



-3σのライン

-3σを終値が下抜けた

■スクリーニングの例 バンドに沿って上昇中

25日周期のボリンジャーバンドを使います。
+2σ（シグマ）を終値が5日間超え続けている銘柄のスクリーニング方法

連続した日数間バンドより上に終値が位置していないとダメ。例えば、1日でも下回ってれば合格してきません。

ずっとう上昇トレンドにある、という銘柄のスクリーニング方法です。

2σとは、95%の確率でその範囲内に収まる、バンドを超えることがないという意味ですが、実際の使い方は、トレンドについていく。という事のほうが多いです。

矛盾しているように思えますが、相手は相場ですから柔軟に考えましょう。

1σは、68%の確率でその範囲内に収まるという意味です。スクリーニング方法では、あまり使いません。

通常は2σ。3σの場合は、逆張りの売りを考える。なかなか3σを超え続けている銘柄はありませんので。

